

有線放送

資料提供
文 池田町有線放送
國枝 浩



▲初期の録音機(オープンリール式)



▶開業当時の放送電話機
(放送用スピーカー付)

始めは要らないと思っていた人も、その便利さを知ってか年々加入者が増えました。それはまず、通話が池田町内に限られていたとはいえ、公社と違って基本料金だけで、タダで掛けられた点にあると思います。そ

ろ、それならおらが町にもと、議会や農協も骨折って下さり、通話が出来、そして放送も聴ける様になったのです。

私の家には病気がちな年寄りがいて、急に医者への往診を頼むにも電話があつたらと思いい電電公社に問合せをすると、地域的に電柱の設置が難しい事や、工事費、電話債券の購入等の費用の面で諦めていました。

池田町に有線放送が始まったのは、昭和40年秋で、もう50年にもなります。それまで電話は商店にあるのが普通で、一般にはそれ程普及していませんでした。



▲カセットテープ式録音機とマイク
(愛称「デンスケ」)

の上放送で、集団検診日等のお知らせや学校だよりが放送され、それは便利だと思えました。中でも私が楽しみにしていたのは、孫たちが学校で読む作文や、保育園で歌う歌が放送される時でした。テープに採って、帰ってきたら聴かせるのですが、その時の孫のはにかむ顔を見るのが嬉しかったものです。今でもそのテープは残っています。

近頃はスマホやネットやらで通話は少なくなった様ですが、放送は色々なジャンルがあつて、気に入るようなものをテレフォンサービスで聴けるのも楽しみの一つです。

協力 郷土史の会